

平成30年10月15日
報道発表資料

担当課名 総務部危機管理課
担当者名 廣瀬 雅
電話番号 0856-31-0601
FAX 番号 0856-23-5001
E-mail kikikanri@city.masuda.lg.jp

平成30年度益田市防災訓練の実施について(ご案内)

益田市防災訓練を下記のとおり実施しますので、お知らせいたします。

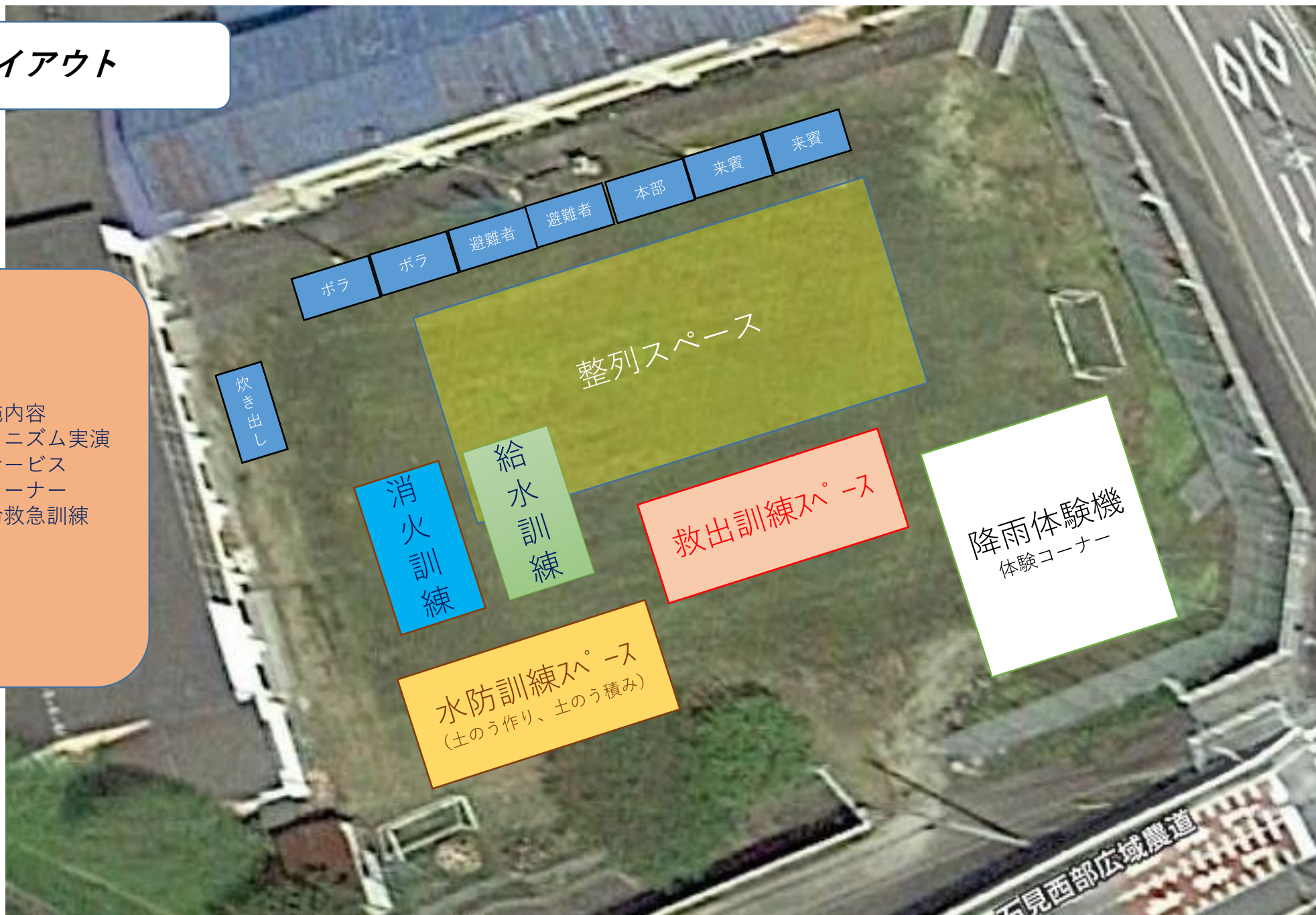
記

- 1 件 名 平成30年度益田市防災訓練
- 2 日 時 平成30年10月27日(土)
8時00分～11時30分
- 3 場 所 北仙道地区振興センター(大草町)
- 4 内 容 別紙のとおり

会場レイアウト

体育館での実施内容

- ・土砂災害メカニズム実演
- ・災害用伝言サービス
- ・避難所設営コーナー
- ・救急法、救命救急訓練
- ・パネル展示



体育館レイアウト

○パネル展示

危機管理課
消防
警察 など

○避難所設営コーナー

危機管理課

○救急法、救命救急訓練

日赤
消防
女性消防団

○土砂災害メカニズムの

実演（模型）
県砂防課

○災害伝言サービス

N T T

導 線

出入口

出入口

校 庭

平成30年度益田市防災訓練実施計画

1 目 的

災害対策基本法第48条に基づき、防災関係機関の連携を強化し、地域住民及び民間団体の協力、参加を得て、より実践的な防災訓練を実施することにより、災害時における迅速、的確な対応が出来る体制の確立を目指すとともに、住民の防災活動の重要性等、防災意識の高揚を図り、防災体制の万全を期することを目的とする。

2 実施日時及び場所

(1)日 時 平成30年10月27日(土) 8:00~11:30

(2)場 所 北仙道地区振興センター(大草町)

※雨天時：気象警報が発表された場合や市が災害体制となる場合等は、訓練を中止します。中止の決定は、前日の午後5時又は当日の午前6時に行います。

3 実施機関(参加団体)

団体名	訓練内容
益田市	訓練総括 情報伝達訓練、避難所設営コーナー
国土交通省浜田河川国道事務所	降雨体験機
島根県土木部砂防課	土砂災害メカニズムの実演(模型)
益田警察署	避難訓練避難誘導 救助訓練
益田広域消防本部 (益田消防、消防団、女性消防団)	消防本部：土のう作り・土のう積み訓練、救助訓練、 消火訓練、救急法・救急救命訓練 消防団：避難誘導、土のう作り・土のう積み訓練 女性消防団：炊き出し訓練、救急法・救急救命訓練
益田市社会福祉協議会	ボランティアセンター運営訓練
日本赤十字社島根県支部	救急法・救急救命訓練
益田管工事業センター 益田市水道部	給水訓練
N T T西日本島根支部	災害用伝言サービス
北仙道地区連合自治会 (大草自治会、赤雁自治会 山折自治会、乙子自治会)	避難訓練、各種訓練参加

4 訓練想定

山陰沖に前線が停滞し、益田市では数日前からやや強い雨が断続的に降り続き、27日の午前中にかけて前線は中国地方まで南下する見込み。今後、前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み大雨となるおそれがある。気象台からは下記のとおり気象情報が発表され、27日朝には、市内東部（北仙道地区）が、これまでの雨と今後予想される大雨により、土砂災害が発生する危険性が高くなったとして、北仙道地区振興センターに、市長を本部長とする災害対策本部を設置するとともに、住民参加型の避難訓練等の益田市防災訓練を実施する。

(気象情報)

26日16時30分：益田市に大雨（土砂災害）注意報、雷注意報発表

27日05時30分：鳥根県気象情報を発表（27日に予想される1時間雨量は多いところで50ミリ、27日6時から28日6時までに予想される24時間降水量は多いところで150ミリ）

06時30分：益田市に洪水注意報を発表。大雨注意報、雷注意報は継続。

08時00分：益田市に大雨（土砂災害、浸水害）警報、洪水警報を発表
気象台からは、これまでも雨が降り続いており、地盤が緩んでいるところがあるため、土砂災害に警戒が必要とのこと。

08時15分：益田市に土砂災害警戒情報を発表

5 訓練内容（項目一覧）

訓練種目	場 所	内 容	実施機関
1部（住民参加型避難訓練等）8:00~9:15			
◇情報伝達訓練 ◇避難訓練 ◇ボランティアセンター運営訓練 (8:00~9:15)	北仙道地区振興センター (グラウンド) 他	◇情報伝達訓練 訓練想定に基づき、午前8時、8時15分に下記の情報伝達を行います。 ・市から北仙道地区振興センターへ連絡 ⇒北仙道地区振興センターから各自治会へ連絡 ・防災行政無線…北仙道地区全域 ・緊急防災放送装置（告知放送）…北仙道地区全域 ・安全安心メール…登録者全員 (情報伝達内容) 8時00分：避難準備・高齢者等避難開始 (状況)土砂災害の発生する危険性が高まった。 8時15分：避難勧告 (状況)土砂災害警戒情報が発表された。 ※この情報伝達訓練放送にあわせて、安全安心メールによる職員参集訓練（連絡のみ）も行います。 (第一次動員（部課長級職員）のみ) ◇避難訓練 防災無線、告知端末から放送される避難勧告等の避難情報に合わせて、北仙道地区各自治会住民が各避難先に避難を行う。その際、自主防、消防団、益田警察署により避難誘導等を行う。 ※各避難先では、自治会と自主防が連携して避難者の受け入れを行い、避難者数を把握し、把握した避難者数を災対本部へ報告します。 ◇ボランティアセンター運営訓練 ボランティアセンターをテント内に設け、事前に依頼しているボランティア参加者に、土のう作り・土のう積み訓練、炊き出し訓練を手伝っていただく。 また、パネル展示等も行う。	益田市 警察 消防団 住民（自治会） 益田市社会福祉協議会

訓練種目	場 所	内 容	実施機関
2 部（全体公開訓練）9:20～10:00			
土のう作り・土のう積み訓練 (9:20～9:40)	北仙道地区振興センター (グラウンド)	住宅への浸水等を想定し、土のう作りや運搬、積み上げ等の応急的な水防工法訓練を行います。この訓練は、益田消防の指導のもと、消防団、地区住民が行います。	消防本部(2名) 消防団(20名) 住 民(10名) ボランティア(10名)
救助訓練 (9:40～10:00)	北仙道地区振興センター (グラウンド)	車両が土砂災害に巻き込まれたことを想定し、警察、消防、消防団が合同で救助、救出訓練を行う。	警 察(5名) 消防本部(8名) 消防団(5名)
3 部（各種体験型訓練）10:00～11:15			
炊き出し訓練	北仙道地区振興センター (グラウンド)	備蓄米（ひじきご飯、五目ご飯、山菜おこわ）を訓練参加者に配給し、試食してもらう。	女性消防団 (2名) 住 民(5名) ボランティア(10名)
消火訓練 (水消火器)	北仙道地区振興センター (グラウンド)	消火器の適正な取り扱いを習い、水消火器を使用した消火訓練を行います。	消防本部 住 民
給水訓練	北仙道地区振興センター (グラウンド)	市水道部と管工事業センターの合同で給水訓練を行う。	市水道部 管工事業センター
降雨体験機	北仙道地区振興センター (グラウンド)	10 mmから最大 100 mmの時間雨量が、どの程度の雨量なのか体験できる降雨体験機です。	国交省 浜田河川国道事務所
土砂災害メカニズムの実演（模型）	北仙道地区振興センター (体育館)	模型を使って土砂災害が発生するメカニズムの実演を行います。	島根県土木部 砂防課
災害用伝言サービス体験コーナー	北仙道地区振興センター (体育館)	小型衛星地球局による特設公衆電話開設。災害用伝言ダイヤル「171」のPR・体験利用。災害復旧活動模様のパネル展示。	NTT 西日本 島根支社
避難所設営コーナー	北仙道地区振興センター (体育館)	段ボールによる間仕切りや段ボールベッドの設営、また災害時用トイレを設営、展示する。	益田市
救急法、救急救命訓練	北仙道地区振興センター (体育館)	三角巾、簡易担架による救急法訓練 心肺蘇生法訓練・AED	消防本部 女性消防団 日本赤十字社 住 民
訓練講評～閉会（本部長）11:20～11:30			
訓練講評	北仙道地区振興センター (グラウンド)	本部長による訓練講評	全参加者
閉 会			

6 会場レイアウト（案）

別紙のとおり

